

《履修上の留意事項》令和2年度は前後期に開講する。面接授業と遠隔授業の併用実施。

《担当者名》○明野 聖子 工藤 禎子 田中 裕子

【概要】

保健師の支援のなかでも、個人・家族、集団の生活支援について学習する科目である。本講では、個人・家族への個別健康教育として健康相談と集団への健康教育に関する援助技術を学ぶ。

【学習目標】

1. 人々の健康行動の特性を理解し、地域に住む個人・家族および集団の健康の保持・増進するための健康教育理論を理解する。
2. 個人・家族が健康を保持・増進することを支援する方法の1つである個別健康教育として、健康相談の基本姿勢とプロセスを理解し、健康相談の援助技術を身につける。
 - 1) 社会文化的な情報、対象者の健康状態、発達課題に基づき、個人・家族に関する情報収集とアセスメントができる。
 - 2) 顕在化している健康課題、潜在化している健康課題をアセスメントができる。
 - 3) 健康課題の緊急性、重要性、公平性、格差是正、解決可能性、実現性から多角的に判断できる。
 - 4) 個人・家族が健康課題解決のために、必要な制度や社会資源を活用を含めて、目標を達成するための具体的な支援方法を提示し、実施できる。
 - 5) 個人・家族の支援を評価する項目と方法、時期を設定できる。
 - 6) 個人・家族のアプローチと組織的アプローチを組み合わせ活用できる。
3. 集団に対して生活習慣病を予防する教育的援助を行うために、健康教育の目的・プロセスを理解し、集団への援助技術を活用できる。
4. 住民や援助者同士と協働して援助を展開するために、グループ学習の目的・意義・集団力学を理解し、グループで課題を解決する方法を身につける。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	健康教育の理念	健康教育の理念 個別健康教育の法的根拠 保健行動の変容に関する理論	工藤・明野
2	個別健康教育の法的根拠と保健行動の変容に関する理論	保健行動と健康の動向, 国民健康・栄養調査の理解 個人, 家族への健康相談(個別健康教育)の法的根拠 健康相談を必要とする人の対象理解, ニーズと特徴 健康相談における基本姿勢と健康相談のプロセス	工藤・明野
3	生活習慣病を予防する方法	健康を守る方法としての食事【調理実習室】	工藤・明野
4	個別健康教育・健康相談	個人への健康相談の実際 ・対象者のアセスメントと支援計画(様式2-3) ・ロールプレイ〔初回面接〕	工藤・明野
5	個別健康教育・健康相談	個人への健康相談の実際 ・逐語録の作成と分析 ・振り返りと継続支援計画(様式3-4)	工藤・明野
6	個別健康教育・健康相談	個人への健康相談の実際 ・ロールプレイ〔継続場面〕 ・健康相談の振り返り	工藤・明野
7	個別健康教育・健康相談	個人への健康相談の実際 ・逐語録の作成と分析 ・健康相談の振り返りと継続支援計画(様式3-4)	工藤・明野
8	生活習慣病予防と健康相談の単元のまとめ	生活習慣病予防、および健康相談の要点の確認 【単元テスト】	工藤・明野
9	集団への健康教育の基礎	健康教育とは何か 健康教育を必要とする集団と特徴 健康教育の計画と評価に関する理論 プリシードプロセスモデル	明野・工藤・田中

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
10	集団への健康教育の基礎	健康教育における集団の対象特性とニーズ 集団の情報収集、アセスメント〔様式6〕	明野・工藤・田中
11	集団への健康教育の基礎	健康教育の実施計画 健康教育のテーマと内容の検討〔様式7～8〕	明野・工藤・田中
12	集団への健康教育の基礎	健康教育の実施計画 健康教育の媒体とシナリオの作成	明野・工藤・田中
13	集団への健康教育の基礎	デモンストレーション	明野・工藤・田中
14	集団への健康教育の基礎	デモンストレーション と健康教育の評価 評価の視点〔様式9〕 評価方法としての観察、ヒアリング、アンケート	明野・工藤・田中
15	集団への健康教育の基礎	デモンストレーション 健康教育に必要な技術のスキルアップ	工藤・明野・田中
16	集団への健康教育の基礎	【地域包括ケアセンターにおける健康教育実施】	明野・工藤・田中
17	集団への健康教育の基礎	【地域包括ケアセンターにおける健康教育実施】	明野・工藤・田中
18	集団への健康教育の基礎	【地域包括ケアセンターにおける健康教育振り返り】 評価方法としてのアンケートの扱いについて	明野・工藤・田中
19	集団への健康教育の展開	健康教育に必要な知識と技術 1)健康教育の対象集団とニーズのとらえ方 2)健康教育の教育技術と学習方法	明野・工藤・田中
20	集団への健康教育の展開	健康教育の対象者の特性とニーズ・健康課題のアセスメント〔様式6〕	明野・工藤・田中
21	集団への健康教育の展開	健康教育の実施計画〔様式7〕 1)目的・目標、評価指標の設定 2)アウトラインと時間配分の検討	明野・工藤・田中
22	集団への健康教育の展開	健康教育の媒体およびシナリオの作成 内容の組み立て〔様式8〕	明野・工藤・田中
23	集団への健康教育の展開	健康教育の媒体およびシナリオの作成 媒体の下書きとシナリオ作成、内容の一貫性の確認	明野・工藤・田中
24	集団への健康教育の展開	健康教育のデモンストレーション デモンストレーション、振り返りと修正	明野・工藤・田中
25	集団への健康教育の展開	ロールプレイング ロールプレイ、振り返りと評価〔様式9〕	明野・工藤・田中
26	集団への健康教育の展開	ロールプレイング ロールプレイ、振り返りと評価〔様式9〕	明野・工藤・田中
27	集団への健康教育の展開	ロールプレイング ロールプレイ、振り返りと評価〔様式9〕	明野・工藤・田中
28	集団への健康教育の展開	健康教育の評価およびシナリオ・媒体の修正	明野・工藤・田中
29	集団への健康教育の展開	健康教育のシナリオ・媒体の修正	明野・工藤・田中
30	まとめ	学習目標の達成度確認と学びの共有	工藤・明野・田中

【評価方法】

第1～8回の健康相談：知識理解10%、技術の達成度15%：計25%

第9～18回の健康教育の基礎：記録様式7-9=8%、シナリオ・媒体6%、グループワーク・実践6%：計20%

第19～29回の健康教育の展開：記録様式6-9=18%、シナリオ・媒体15%、グループワーク・実践12%：計45%

学習目標に関するミニテスト：10%

【備考】

教科書：1)佐伯和子編：公衆衛生看護学テキスト2、公衆衛生看護技術、医歯薬出版株式会社
2)厚生労働統計協会：国民衛生の動向(入手可能な最新版)

参考書：1)中村裕美子他：公衆衛生看護技術、医学書院

- 2)岡本玲子他編著：公衆衛生看護活動、医歯薬出版株式会社
- 3)松田正巳他：対象別公衆衛生看護活動、医学書院
- 4)坂根直樹・佐野喜子：質問力で磨く保健指導、中央法規
- 5)坂根直樹・佐野喜子：説明力で差がつく保健指導、中央法規
- 6)安村誠司編著：地域ですすめる閉じこもり予防・支援、中央法規

【学習の準備】

- 1) テキストの関連ページの講読：約1時間
- 2) 配布資料のファイリング、再読、理解：約1時間
- 3) 事前課題への取り組み(情報収集、記述)：約1-4時間
- 4) 健康教育テーマに関する事前学習：約2時間
- 5) 健康教育実施に向けた自己学習(記録・媒体・シナリオ作成)：約2-4時間

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP4、DP3

【実務経験】

明野聖子(保健師)、工藤禎子(保健師)、田中裕子(保健師)

【実務経験を活かした教育内容】

地域における多様な場での保健師としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。